

活動分野	緑のおもしろ講座		
タイトル	楽しいお庭の管理（管理は芸術だ）		
実施日時	平成29年4月9日（日）10時～14時		
実施場所	千葉市 都市緑化植物園		
受講者	17名	FIC会員他スタッフ	7名

活動の内容

花散らしの雨が降るなか午前中は座学、午後から屋外のスケジュールで面白講座を開催した。主題は庭の管理であるがタイトルは「管理は芸術だ」と大きなテーマにした。

これは私が日ごろから思っている事で管理が大変だ、草取りが大変だと言う人が多いのでその人に管理が大変であれば庭を持つな”と言いたい。むしろ管理を如何に楽しむか、管理がやり易いお庭に改造する、発想の転換が必要である。

お庭の管理は植物管理であり、植物は工場製品とちがいが生き物である。地球と繋がっていて地球から水を吸い上げ太陽の光を浴びて大きくなる。植物の性で自分では動けないので、生まれた（植えられた）場所で時間を蓄積しながら何千年と生きる植物もある。

右写真は松の芽立ちの写真だ。

“なんと美しい事か バレリーナの踊りである”
この小さな稚苗が、樹高20m以上となり何百年と生きる事を考えると、植物の扱いも変わって来るのではないだろうか。

お庭の管理が楽しいと思えるようになるには、なるだけ庭に出る機会を増やす事である。そのためには庭に出たくなるような仕掛け種を蒔く、挿し木をする、果樹を植える等が必要である。芽が出たか、実が大きくなったか、毎朝庭に出て確認するのが楽しくなる。

午後からは、座学で学んだ剪定の方法などを実習する予定であったが、作業出来る天気ではなかったので樹木観察に変更して広畠さん森池さんの協力を得て無事終了した。

受講者が、お庭の管理と芸術が結びついたかが心配である。

